

# 令和8年度 小麦生育状況 (令和8年産 No. 4)

岩手県農業研究センター生産基盤研究部 水田利用研究室  
(TEL0197-68-4412、FAX0197-71-1081)

## 1 気象経過

平均気温は、前回の調査以降、期間を通して平年よりも高く推移した。降水量は、平年並みからやや多く推移した。日照時間は4月第1半旬で平年を下回り、その他の期間は概ね平年並みに推移した。(図1)

## 2 生育概況

4月20日現在の「ゆきちから」の生育は、平均気温が高めに推移したため、草丈が平年より10cm程度長く、㎡当たり茎数も平年より27%多かった。また、地上部乾物重も平年比141%と平年を大きく上回った。「ナンブキラリ」も同様に、過去2年平均と比較し、草丈、茎数、地上部乾物重は平年を上回った(表2)。

各品種の幼穂形成期は、融雪以降の気温が平年より高く推移したため、8~10日程度早まった(表3)。4月20日時点の幼穂長は「ゆきちから」で25.1mmと平年より8.5mm長かった。

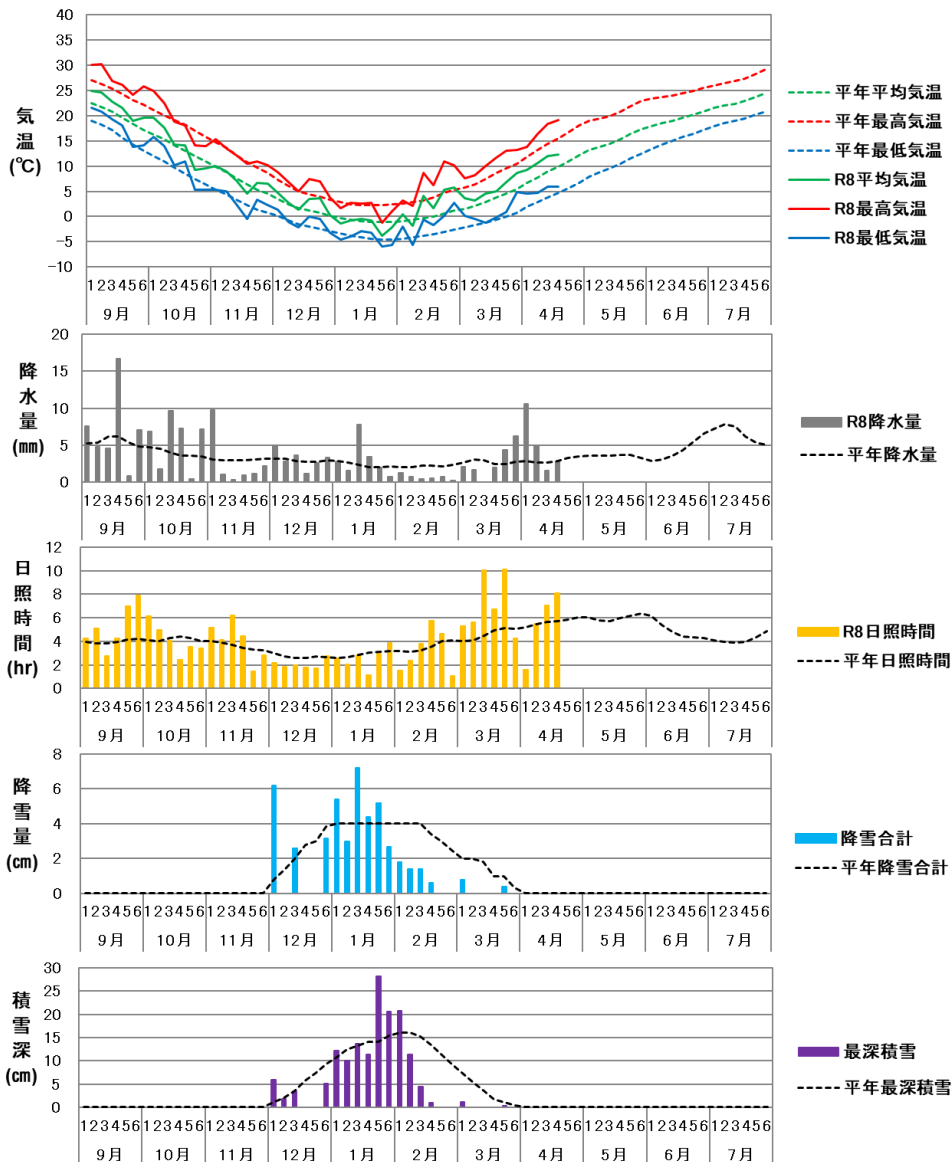


図1 令和7年播種小麦の生育期間中の半旬別気象経過図 (北上アメダス)

表1 根雪期間

年次 播種-収穫	根雪期間		積雪+降雪日数
	始め	終わり	
<b>R7-8</b>	<b>1/1</b>	<b>2/21</b>	<b>51</b>
R6-7	12/14	2/24	73
R5-6			0 52 ※
R4-5	12/15	2/27	75
R3-4	12/25	3/15	81
R2-3	12/14	2/27	76
R1-2			0 44 ※
H30-31			0 45 ※
H29-30	12/12	3/14	93
H28-29	1/9	3/13	64
H27-28	1/14	2/14	32
H26-27	12/2	2/28	89
H25-26	12/20	3/24	95
H24-25	12/24	3/15	82
<b>平年</b>	<b>12/21</b>	<b>3/6</b>	<b>76</b>
<b>平年差</b>	<b>11</b>	<b>-13</b>	<b>-25</b>

根雪期間

- ①長期積雪(積雪継続が30日以上)の時の初日から終日までの期間
- ②積雪継続が10日以上(期間が2つ以上で、かつ、2つの期間の無積雪日が5日以内)
- ③上記②が2つ以上ある場合はそれぞれを第一、第二とし、根雪期間は第一の初日から第nの終日とする。

※は、気象庁の定める長期積雪(根雪期間、積雪継続が30日以上)を満たしていないため平均値から除外

表2 生育状況 (令和8年4月20日調査)

品種	播種年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	地上部 乾物重 (g/株)
ゆきちから	7年	49.7	853	3.36
	平年	39.0	672	2.39
	差・比	10.7	127%	141%
ナンブコムギ <sup>注1</sup>	7年	43.8	543	2.69
	平年	42.7	559	3.11
	差・比	1.0	97%	86%
ナンブキラリ	7年	55.1	777	4.21
	過去2年平均	47.7	627	3.83
	差・比	7.5	124%	110%

注1) ナンブコムギは、縞萎縮病の影響が比較的小さい片反復のデータのため参考値である

注2) 平年値は、令和2年～6年播種の5か年平均を用いた。

表3 生育ステージ及び幼穂長 (令和8年4月20日調査)

品種	播種年次	幼穂形成期 (月日)	幼穂長 (mm)	発育ステージ
ゆきちから	7年	3月24日	25.1	X期以降
	平年値	4月3日	16.6	—
	差	-10	8.5	
ナンブコムギ <sup>注1)</sup>	7年	3月25日	17.6	X期以降
	平年値	4月3日	17.6	—
	差	-9	0.0	
ナンブキラリ	7年	3月28日	12.5	X期以降
	過去2年平均	4月5日	—	—
	差	-8	—	—

注1) ナンブコムギは、縞萎縮病の影響が比較的小さい片反復のデータのため参考値である

注2) 10株/品種の主茎の幼穂を調査。

注3) 発育ステージは、「コムギ・オオムギの発育調査基準の再整理(2022)」より推定

注4) 平年値は、令和2年～6年播種の5か年平均を用いた

表4 耕種概要

品種	ゆきちから	ナンブコムギ、ナンブキラリ
播種期	令和7年10月6日（標準播種期：10月5日）	
栽培様式	密条播（条間30cm）、転換1年目（前作水稻）	
播種量（kg/10a）	7.0（手播き）	6.0（手播き）
堆肥・緑肥（kg/10a）	牛糞堆肥1,000	
施肥量（kg/10a） 基肥	窒素：6.0 リン酸：8.5 カリ：8.5	
施肥量（kg/10a） 融雪期追肥	窒素：4.0（3月25日）	窒素：2.0（3月25日）

雑草・病虫害防除

雪腐病（種子消毒）	ベフラン液剤25：原液
縞萎縮病（播種前）	フロンサイドSC：600mL※（10月3日）
除草剤（播種後）	リベレーターフロアブル：80mL※（10月9日）
雪腐病	フロンサイドSC：100mL※（11月27日）
除草剤（越冬後）	ハーモニーDF：5g※（4月9日）

※100Lの水で希釈し10aに散布



写真1 ゆきちからの生育状況（4/20）



写真2 ナンブコムギの生育状況（4/20）



写真3 ナンブキラリの生育状況 (4/20)